



株式会社マックス

オークション主体の掘り出しきもの販売で30年以上の実績を持つ大阪の老舗。心齋橋本店、阪神梅田本店を含む3店のブティックを展開。03年より全国有名百貨店にて人気リサイクルきもの店が参加する催事をプロデュース。各界で話題となる。

株式会社マックス
代表取締役
前田靖子 (まえだ やすこ)
株式会社マックスの「顔」として自ら店頭立ちながら販売戦略からイメージ作りまでを手がける。「リサイクルきものショップフェア」のイベント・プロデューサーを務めるなど多彩な才能を発揮。



「きものお祭り」のような楽しい催し。その魅力は回を重ねることに進化していますね。

きものを通じて時代をつなぐ、人を結ぶ

和田 今年のトレンドキーワードは「絆」。家族のつながりや年中行事など、伝統的なものへの回帰が強まっている気がしますね。

前田 きものお客様も以前は50代以上が圧倒的。ところが最近20代の女性にも、振袖を作法通りキチッと着たいという人や、お友だちの結婚式にはきもので出席する人が多いです。ビジネスの最前線で活躍



大阪北新地
日本料理 うかむ瀬 女将
鈴木 澄子さん

きものは、プライド。きものは、仕事着。だから、リサイクルが魅力。

前田社長の「リサイクルきもの」ファンになってほぼ10年です。料亭のお客様は何かにつけて「目利き」の方が多く、帯の質は落とせないので、一方、きものはあくまで「仕事着」なんです。お座敷でのご挨拶で何度も膝をつき、裾をさばいて廊下を駆け回る、という毎日ですから、何百万円のきものもすぐ傷んでしまう。良い品を手頃な予算でまとめ買えるリサイクルきものは理想的、というわけです。特にマックスさんは前田社長の人柄と、おすすめセンスの良さが魅力。私が選んだきものに合う帯や小物をあつという間に眺めてくれて、そのどれもが素晴らしい組み合わせ。買付けも「面白いそうなお客様の顔を思い浮かべて」なさっているとかで、さすがですね。

きものとの出逢いは、大人の楽しみ。だから、もっと自由に、華やかに。

初めてつくしの第一回フェア 爆発的人気の理由は？

前田 「リサイクルきものショップフェア」もこの秋で8回目。2003年の初回からプロデューサーを任せていただいています。そもそもこの催しは、阪神梅田本店さんにとって大変に大胆な試みだったのですね。

和田 それまでは百貨店の呉服催事でリサイクル物はせいぜい売場の「コーナー扱い」でした。それが催事スペース全てを5店のリサイクルきもの専門店に埋め尽くすというのは本当に大胆でした。しかも全てのコーディネートは前田社長一人にお任せする。：。当初の試みで、正直言って、売場責任者として



開催初日夜は不安で眠れなかったですね(笑)。

それが、初日のエレベーターの扉が開いたとたんにお客様が押し寄せ大盛況。ご年配から若い方までお客様層の広さ、またご購入金額の幅の広さも、今までの呉服催事では考えられないものでした。

前田 リサイクルとは言うても決して「安物」ではない、むしろきもの目利きの方が夢中になって掘り出し物を見つけた楽しさを感じていただけの催しに、と考えました。また若い人には和装の堅苦しいイメージを払拭し、きものと遊び、楽しんでもらえるよう売り場作りやアイテム選びを工夫しました。

わが社の出品も展示会なら百万円以上するような超逸品の掘り出しきものから、ワンコインで楽しめる端切れコレクションまで品揃えにとことんこだわって。クチコミでも評判になって連日うれしい悲鳴でした。

和田 お客様の入れ替えをしなければならぬ日があるほどの人気で、次の年はご来店の方全員にゆつくり楽しんでいただくために催事場の広さを2倍に拡大しました。まさに



する30〜40代のキャリアウーマンにも、きものファンがふえてるんですよ。注目され、立ち振る舞いに緊張が生まれることで、「もう一人の自分」が見つかるからではないでしょうか。日本人の古き良き美意識が新しい形でよみがえっているのかも知れませんね。

和田 伝統的なものに新しい生命を吹き込む、というのは、前田社長がこだわっておられるリサイクルきもの考え方につながるようですね。

前田 おばあちゃんが大切に箆笥にしまっていたきものが、母親から孫

に受け継がれていく。そんな文化も時代の流れで消えていきつつあります。心を込めて織られ、大切に着られてきたものが、誰に袖を通されることもなく箆笥の中で朽ちてしまうのはあまりに可哀想。大げさにいえば文化の損失という気がします。それが気に入ってくれる人に巡り会い、着てもらえれば、きものにとっても幸せですよ。

わが社では、きものを仕入先から「買い取る」ではなく「お預かりする」形での委託販売に力を入れています。大切なきものを箆笥でお預かりして、縁のあるお客様との出逢いを演出するのが私たちの務め。きもの好きの方々みんなに使っていただける、大きなワードローブでありたいという思いがあります。うちにきものをお売りになると、新しい掘り出し物を買われて：。というお客様もたくさんおられます。

ときめきの掘り出し物 この秋は、ひときわ充実

和田 この催しには毎年、日本全国から前田社長のファンのお客様が来られるんですね。

前田 東京や九州のきもの催事でファンになっていただいたお客様は、はるばるご阪神梅田本店での催しに駆けつけてくださいます。「品揃えもいちばんだし、何よりあなたのおすすめの品が欲しくて」と言っていただけ。お客様との出逢い、期会を生きがいにして私にとつてこんなうれしいことはありません。

和田 今回の催しは本物志向のおしゃれなイメージ。特に前田社長のセレクトコーナーは目が離せません。売り場担当としても楽しみにしています。

前田 私が全国のオークション会場から厳選してきたアイテムを「前田靖子セレクトコーナー」としてお披露

目販売します。今年は毎日10アイテムを目替わりで揃えます。質量ともにこれまでの最大級になるはず。有名作家の作品や、希少な手織りものなども、通常の何十分のこの価格で入手していただけます。宝探しのようなワクワク感を楽しんでいただけたらと思います。

和田 成人式を控えた方やそのお母様も、ぜひお立ち寄りいただきたいですね。

前田 日頃すれ違いが多い娘さんとお母さんにこの催しで素敵な時間を共有していただけたらうれしいですね。



阪神梅田本店
和田忠良 (わた ただよし)
阪神梅田本店 呉服販売サービス部長。2002年より呉服売場のパイヤーに就任。呉服催事の責任者として活躍中。